

平成29年度春期 災害対策専門研修

マネジメントコース:ベーシック

担当: 研究員 辻岡 綾

時間\日付	6月20日(火)	6月21日(水)	6月22日(木)	6月23日(金)
09時30分～10時45分	1限	行政における災害対応業務の実際 小野山 正 兵庫県企画県民部災害対策局災害対策課長 (関西広域連合広域防災局災害対策課) 後藤 武志 飯田市危機管理室防災係係長 ・大規模災害における行政対応の経験や、地域に向けての防災・減災活動の経験について学び、災害対応業務の実際について学ぶ	危機管理総論 石原 凌河 人と防災未来センターリサーチフェロー (龍谷大学政策学部 講師) ・危機管理の基礎的な考え方と実務上のとらえ方を理解する	災害史と社会 福和 伸夫 人と防災未来センター上級研究員 (名古屋大学減災連携研究センター長・教授) ・過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析をとおして、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 辻岡 綾 人と防災未来センター研究員	災害と男女共同参画 斉藤 容子 人と防災未来センターリサーチフェロー ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める	災害関連法体系基礎 山崎 栄一 関西大学社会安全学部教授 ・災害対応にあたって使える権限・財源を理解する ・災害対策基本法・災害救助法の守備範囲を理解する
13時15分～14時30分	3限	災害過程論 松川 杏寧 人と防災未来センター主任研究員 ・災害発生後に、被災者が直面する様々な課題を時間軸から理解する	災害をもたらす自然現象の理解(風水害) 川池 健司 京都大学防災研究所准教授 ・風水害の発生過程とその対応方法を理解し、自治体の対応を考える	被災者対応総論 重川 希志依 常葉大学社会環境学部教授 ・災害時に行政が対応すべき被災者支援業務の内容とその流れについて理解する
14時45分～16時00分	4限	(センター展示施設見学ワークショップ) 災害時に被災者が直面する生活課題 辻岡 綾 人と防災未来センター研究員 ・災害発生時に人びとが直面する生活上の課題を具体的にイメージする	災害をもたらす自然現象の理解(地震・津波) 清野 純史 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学大学院工学研究科教授) ・地震発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解し、自治体の対応を考える	都市の復興概論+復興まちあるき 小林 郁雄 人と防災未来センター上級研究員 (兵庫県立大学 特任教授) ・北淡震災記念公園野島断層保存館を訪問し、阪神・淡路大震災の被災地での復興過程と様々な取り組みを学ぶ
16時15分～17時30分	5限		地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センターdisasterManager (前芦屋市企画都市市長室長) ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する	全体討論会 辻岡 綾 人と防災未来センター研究員 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ 16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム

※講師、内容、時間帯については変更の可能性があります。

平成29年度春期 災害対策専門研修

マネジメントコース:エクスパートA

主担当:主任研究員 本塚 智貴

時間\日付	6月6日(火)	6月7日(水)	6月8日(木)	6月9日(金)
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	<u>市民社会ワークショップ</u> 立木 茂雄 人と防災未来センター上級研究員 (同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハローボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハローボランティア・ネットワークみえ事務局	<u>危機対応時の組織論(情報システム)</u> 宇田川 真之 人と防災未来センター 研究主幹 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システム(GISなど)の活用方を学ぶ	<u>災害対応ワークショップ</u> 本塚 智貴 人と防災未来センター主任研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 本塚 智貴 人と防災未来センター主任研究員	・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める	<u>危機対応時の組織論(戦略的な広報について)</u> 川西 勝 人と防災未来センターリサーチフェロー (読売新聞大阪本社編集局編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	
13時15分～14時30分	3限 <u>災害対応概論(初動期)</u> 辻岡 綾 人と防災未来センター研究員 古越 武彦 人と防災未来センターリサーチフェロー(長野建設事務所 維持管理課 管理係 課長補佐兼管理係長) ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	<u>災害対応概論(復旧・復興期)</u> 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	<u>民間企業と連携した災害対応</u> 朝倉 一昌 一般社団法人危機管理情報共有基盤代表理事(理事長) 水谷 嘉浩 Jパックス株式会社 代表取締役 全国段ボール工業組合連合会 防災担当アドバイザー ・民間企業と連携した平常時の減災対策や災害時の応急対策について、取り組み事例に基づき学ぶ	<u>災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み)</u> 三上 晴由貴 新潟県福祉保健部医務薬事課 地域医療班 政策企画員 ・災害救助法適用事例等から災害救助法の理解を深める
14時45分～16時00分	4限 <u>災害対応概論(応急期)</u> 中林 啓修 人と防災未来センター主任研究員 古越 武彦 人と防災未来センターリサーチフェロー(長野建設事務所 維持管理課 管理係 課長補佐兼管理係長) ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	<u>災害対応各論(災害時の物流対応)</u> 興村 徹 株式会社日通総合研究所 Senior Executive Officer(Sales Development Unit) ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	<u>災害対応各論(広域連携)</u> 阪本 真由美 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	<u>全体振りかえりワークショップ</u> 本塚 智貴 人と防災未来センター主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 <u>災害対応各論(医療活動)</u> 甲斐 達朗 人と防災未来センター上級研究員 (済生会千里病院 千里救命救急センター 顧問) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	<u>災害対応演習(クマ演習)</u> 本塚 智貴 人と防災未来センター主任研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	<u>危機対応各論(行政と自衛隊との連携)</u> 早川 喜代司 (元 陸上自衛隊第3師団飛行隊長) ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

平成29年度秋期 災害対策専門研修

マネジメントコース: エキスパートA

主担当: 研究員 高田 洋介

時間\日付	10月10日(火)	10月11日(水)	10月12日(木)	10月13日(金)	
09時30分～10時45分	1限	<u>市民社会ワークショップ</u> 立木 茂雄 人と防災未来センター 上級研究員 (同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハローボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハローボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める	<u>災害対応ワークショップ</u> 中林 啓修 人と防災未来センター 主任研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける	<u>危機対応時の組織論(戦略的な広報について)</u> 川西 勝 人と防災未来センター リサーチフェロー (読売新聞大阪本社編集局編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	
11時00分～12時15分				2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 高田 洋介 人と防災未来センター 主任研究員	<u>災害対応各論(災害時の物流対応)</u> 興村 徹 株式会社日通総合研究所 顧問 ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ
13時15分～14時30分	3限	<u>災害対応各論(医療活動)</u> 甲斐 達朗 人と防災未来センター 上級研究員 (済生会千里病院 千里救命救急センター 顧問) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	<u>民間企業と連携した災害対応</u> 朝倉 一昌 一般社団法人危機管理情報共有基盤代表理事(理事長) 水谷 嘉浩 Jパックス株式会社 代表取締役 全国段ボール工業組合連合会 防災担当アドバイザー ・民間企業と連携した平常時の減災対策や災害時の応急対策について、取り組み事例に基づき学ぶ	<u>災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み)</u> 三上 晴由貴 新潟県福祉保健部医務薬事課 地域医療班 政策企画員 ・災害救助法適用事例等から災害救助法の理解を深める	
14時45分～16時00分	4限	<u>災害対応各論(応急期)</u> 松川 杏寧 人と防災未来センター 主任研究員 古越 武彦 人と防災未来センター リサーチフェロー(長野建設事務所 維持管理課 管理係 課長補佐兼管理係長) ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	<u>危機対応各論(行政と自衛隊との連携)</u> 早川 喜代司 (元 陸上自衛隊第3師団飛行隊長) ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	<u>災害対応各論(広域連携)</u> 阪本 真由美 人と防災未来センター リサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	<u>全体振りかえりワークショップ</u> 高田 洋介 人と防災未来センター 主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	<u>災害対応各論(復旧・復興期)</u> 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	<u>災害対応演習(クマ演習)</u> 高田 洋介 人と防災未来センター 主任研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	<u>危機対応時の組織論(情報システム)</u> 宇田川 真之 人と防災未来センター 研究主幹 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システム(GISなど)の活用方策を学ぶ	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム		

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

平成29年度春期 災害対策専門研修

マネジメントコース:エキスパートB

主担当:主任研究員 松川 杏寧

時間\日付	6月13日(火)	6月14日(水)	6月15日(木)	6月16日(金)
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	標準的な災害対応システム論 牧 紀男 京都大学/震災資料研究主幹 ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	被災者行政の流れと課題 菅野 拓 人と防災未来センター主任研究員 ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ	災害時要配慮者への対応 立木 茂雄 同志社大学 社会学部 教授 ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 松川 杏寧 人と防災未来センター主任研究員	災害時の健康危機管理 高田 洋介 人と防災未来センター主任研究員 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	業務継続計画論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学 防災教育研究センター准教授) ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する
13時15分～14時30分	3限 避難の実態と課題 宇田川 真之 人と防災未来センター研究主幹 ・災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと避難が困難な要援護者への対応について学ぶ	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト取締役 マネージャー・主席コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員(京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授・センター長) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 関西国際大学教授 セーフティマネジメント教育研究センター長(元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める
14時45分～16時00分	4限 災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて			全体振りかえりワークショップ 松川 杏寧 人と防災未来センター主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 防災訓練設計 近藤 伸也 宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 ・地域や居住者に向けての防災・減災訓練をどのように設計すればよいのか、具体的事例を交えつつ学ぶ	災害情報の受発信手法 木戸 崇之 人と防災未来センターリサーチフェロー (株)イービーシー・リブラ「おはようゴール」ニュース担当デスク ・被害情報の受信(収集)と発信(広報)およびこれらを総合した情報共有のあり方について学ぶ	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)事務局長 菅野 拓 人と防災未来センター主任研究員 ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

平成29年度秋期 災害対策専門研修

マネジメントコース:エキスパートB

担当:主任研究員 菅野 拓

時間\日付	10月17日(火)	10月18日(水)	10月19日(木)	10月20日(金)
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	標準的な災害対応システム論 牧 紀男 人と防災未来センター震災資料研究主幹 (京都大学防災研究所教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	災害時要配慮者への対応 立木 茂雄 人と防災未来センター上級研究員 (同志社大学 社会学部 教授) ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 関西国際大学 副学長 教授 (元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 菅野 拓 人と防災未来センター主任研究員	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト取締役 マネージャー・主席コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	業務継続マネジメント論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・各公共機関における災害時の業務継続の重要性について、また、その方法について、具体的な事例を交えて理解する	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する
13時15分～14時30分	3限 <u>避難の実態と課題</u> 宇田川 真之 人と防災未来センター研究主幹 ・多様な災害種別や状況によって異なる避難行動の在り方や、避難情報の発信・伝達・内容などについて学ぶ		被災者行政の流れと課題 菅野 拓 人と防災未来センター主任研究員 ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ	災害時の健康危機管理 高田 洋介 人と防災未来センター主任研究員 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める
14時45分～16時00分	4限 <u>災害時のこころのケア</u> 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初期期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員(京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授・センター長) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)事務局長 菅野 拓 人と防災未来センター主任研究員 ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	全体振りかえりワークショップ 菅野 拓 人と防災未来センター主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 <u>図上訓練設計</u> 藤原 宏之 伊勢市危機管理部危機管理課 主事 ・行政職員に向けての図上訓練をどのように設計すればよいのか、具体的事例を交えつつ学ぶ。		災害時のメディア対応 木戸 崇之 人と防災未来センターリサーチフェロー (株)エービーシー・リブラ 専任マネージャー) ・メディアに振り回され、災害対応を複雑化させる負のスパイラルを離れ、マスメディアやその他の手段を活用して、被災者と職員の状態を好転させる情報の受発信方法を学ぶ	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

平成29年度秋期 災害対策専門研修
アドバンスト／防災監・危機管理監コース

主担当：主任研究員 中林 啓修

10月26日(木)	10月27日(金)
<p>(9:30～ センター展示見学：希望者のみ)</p>	<p>9:30～11:00 90分 <u>危機対応組織論</u> 河田 恵昭 人と防災未来センター センター長 ・危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。</p>
<p>10:30～10:45 開講式 10:45～11:30 オリエンテーション 中林 啓修 人と防災未来センター 主任研究員</p>	<p>11:15～12:30 75分 <u>災害対応特論</u> 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長 ・災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考えを深める。講義は討論形式で行う。</p>
<p>11:45～12:30 45分 <u>目標管理型災害対応論</u> 中林 啓修 人と防災未来センター 主任研究員 ・目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。</p>	<p>休憩</p>
<p>13:30～15:00 90分 <u>行政対応特論①</u> 植松 浩二 熊本市 副市長 ・市町村における災害対応事例から課題や教訓を学ぶ。</p>	<p>13:30～16:00 150分 (途中休憩あり) <u>災害対応検討ワークショップ</u> ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける。 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長 中林 啓修 人と防災未来センター 主任研究員</p>
<p>15:15～17:30 135分(途中休憩を含む) <u>行政対応特論②</u> 齋藤 富雄 関西国際大学 副学長 元兵庫県防災監 ・県における大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応や課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。</p>	<p>16:00～16:15 レポートタイム 16:15～16:30 閉講式</p>
<p>17:30～17:45 レポートタイム</p>	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。